

第9回歴史地震史料研究会

主催：新潟大学災害・復興科学研究所「日本海沿岸地域を中心とした地震・火山現象の解明のための史料収集と解析」研究グループ，科研基盤研究C「災害記録としての活用に向けた年代記の研究」

2021年11月14日（日）12：25～17：35

Zoomを用いたオンライン開催

○研究発表会日程○

12:30～13:30 口頭発表

齋藤瑞穂・鈴木正博 縄文三陸地震津波研究（4）—被災した縄文集落のその後—
西山昭仁・原田智也 古代・中世の奈良における被害地震の検討
松岡祐也 出羽国仙北郡の応永30年地震に関する史料の検討

13:45～14:45 口頭発表

水野 嶺 薩摩藩記録にみる文明桜島噴火
片桐昭彦 近世成立の年代記に記される古代・中世の地震記事の出典
小野映介 京都盆地南部、富ノ森城跡において確認された噴砂について

15:00～16:00 口頭発表

堀 健彦 1611年会津地震による山崎新湖の形成とその消滅—絵図に注目して—
浅倉有子 宝暦高田地震の新資料の紹介
蝦名裕一 象潟地震による家屋倒壊率について—由利郡関村を事例に—

16:15～17:35 口頭発表

原田和彦 松代藩における善光寺地震後の復興策—勘定所元メ「変災日記」の分析—
吉岡誠也 安政東海地震における佐賀藩江戸藩邸の被害と復興
矢田俊文 一軒当り死亡者数と災害—1742年寛保台風と1891年濃尾地震—
中村 元 20世紀前期新潟測候所の地震観測について

本年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から事前申込制による Zoom(ウェブ会議システム)を用いたオンライン方式で行います。参加申込のメ切は **11月9日(火)** とさせていただきます。参加を希望される方は氏名・メールアドレス・所属・住所をご記入の上 katagiri@human.niigata-u.ac.jp までお送りください。

問い合わせ先 片桐昭彦（新潟大学人文学部，災害・復興科学研究所兼任）

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050 新潟大学人文学部

電話 025-262-6542 E-mail: katagiri@human.niigata-u.ac.jp